

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 10 No 06

107号

平成14年 6月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

予約診療

院長

皆さん予約診療、どう思われますか。実は先日、ある患者さんから次のような投書（メール）頂きました。「こちらでお世話になっております、2歳の男の子の母です。先生に診てもらい、息子も元気になり、ああ、先生のところに行ったら良かったなあと思っていました。今日、先生に診て頂いたら、終わりかなあ、なんて思って、病院に行くと、さすがに混雑しています。ああ、治りがけに力ぜなんかもらわなければいいけど...と思うと、やっぱり。次の日には、熱が。先生の病院は、先生がとっても上手に治してくださいさし、私達、親にもきちんとかかりやすく説明してくださいさし、「こんな病院を探していたのよ!」っていう感じなのですが、そんな素晴らしい病院は、やっぱり混んでいるんですね。待ち時間も長いし、病気の子供には、この待ち時間がキツイ。さらに、治りがけに、病気をもらってきちゃう確率も高い。どうにかならないでしょうか。電話による予約だとか、できないのでしょうか。車で行けば、車の中で待ってることもできるのでしょうが、車の運転できないし...。考えていただけますか?」。

メールで返事を差し上げました。「返事遅くなりました。混雑は、いつも問題になっています。しかし今日は暇で、日中にメールを書く余裕もあります。小児科は、季節や曜日、休日などによって混雑の度合いが変わってきます。予約制の話も、開業して以来何度も出ました。しかしいろいろな考えがあり、導入しないでいます。当院のよいところは、十分説明をしてお母さん方が安心できることだと思っています（自分で言うのも変ですが）。そのために2分で済む患者さんもいれば、30分かかることもあるのです。予約制にした場合はどうでしょう。一人当りの時間を決めて予約を入れることになります。その場合一人当り2~3分の計算です。まして小生は話し好きですから、長くなってしまふ患者さんがいます。予約制になって待ち時間が長くなると、今以上に苦情が出ます。また我々も時間に追わ

れ、何とか患者さんを早く診察しよう、と思うことになります。これでは、当院の良さが無くなってしまふかもしれません。以前あるお母さんに言われました。「予約制で2時間家で待っているより、クリニックで同じ時間待つほうが安心できる」と。



お母さん達の多くは、たくさん先生に話を聞いてもらいたい、十分説明して心配を解消したいと思っているのです。今の仙台市内の小児科、混雑しているところは混雑して、空いているところは空いているというパターンです。当院が良い病院かどうかは、こちらで判断するものではありませんが、そう思っているお母さんが多いことも確かです。毎回混雑するわけではないので、どちらか選択するしかないと思います。今回はゴールデンウィークということもあり、余計に混雑したのかもしれませんが、この程度の回答しか出来なくて、申し訳ありません。こんなに長く回答するのも、当院の理念からです。こんな病院は、他にはないかもしれません。」。

少し追加します。仙台市内で完全に予約制をとっている小児科は、5件もありません。予約制に関する評価も人それぞれで、待ち時間が少ないからよいという評価もあれば、いつでも受診出来ないのが困るという評価もあります。良い悪いは、人によって判断が異なるのです。患者さんの多くは、自分の話を聞いてもらうことや十分な説明をしてもらうことを望んでいますが、自分が待つことには不満を持ってしまうのです。

不安や心配の強い人には、長い診療時間が必要です。当院の理念は「お母さんの不安・心配の解消」です。そのためには、どうしても時間をかけなければならないこともあるのです。以前クリニックNEWSで「二兎を追う者は」を書きました。待ち時間を短くすることや他の病気の感染を防ぐことも大事ですが、不安や心配を取ることがもっと重要と思っています。二兎を追わないことと、理念を追い続けるためにも、あえて予約診療にはしていないことをご理解下さい。せっかくの機会ですから、皆さんの忌憚ないご意見を待っています。

コンサートのご案内

宮城さい帯血バンクチャリティ

入場券あります。

親と子のふれあいコンサート

詳しくは

6月15日(土) 午後2:00

受付に問い合わせを

仙台市青年文化センター コンサートホール

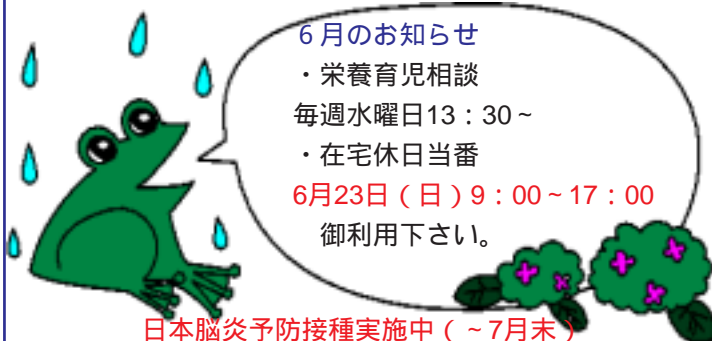
お子さんも一緒に楽しめます。御協力を!!。

6月のお知らせ

- ・栄養育児相談
毎週水曜日13:30~
- ・在宅休日当番

6月23日(日) 9:00~17:00

御利用下さい。



日本脳炎予防接種実施中(~7月末)

読者の広場

先月は40通のメールと3通の投書と1通のFAX頂きました。「小児科医がやさしく教える 赤ちゃん子どもの病気」は、河北新報、朝日新聞の書評で取り上げられ、仙台リビング新聞ではクリニックの活動とともに本の紹介もされました。河北新報の子ども未来図-、ご存知ですか。様々な小児医療の問題点が提起されています。小児医療への取り組みの一つの例として院長が掲載されました。また座談会（5月12日）の様子が、カラーでほぼ一面の大きさで取り上げられ、顔写真を見られた方も多かったと思います。その後FMいずみの放送や仙台っ子（雑誌）でも紹介され、一躍有名人（??）になりました。院内に自慢げに（?）、掲示してあります。そして、今度は写真集も出ましたよ（右側が紹介です）。



メールを紹介します。まずは青葉区の七尾さんから。「いつもお世話になっている七尾裕太の母です。連休明けも診察して頂き、私のほうが安心して帰りました。いつもより高熱、さらに熱性痙攣とくると2年前の肺炎のことが思い出され、普段は気にしていない昼寝の寝起きの悪さでさえ、具合が悪いのではと心配してしまいます。今週は大事をとって休ませましたが月曜からは園に行けそうです。ところで本の出版おめでとうございます。朝日新聞、今日のリビングでも見ました。裕太は写真を見て「ぼくの先生だ。どうして？」と照れ笑い。折に触れて、ホームページの医療相談コーナーも拝見していましたが、やはり手元ですぐ広げられるのは安心。さっそく本屋さんへgo!。（略）先生にメールを打つと主人に言ったら、お忙しい方だから手を煩わせては申し訳ないと戒められましたが...やはり打ってしまいました。好きなことをやっているのなら、どんなに忙しくても体はついてくる...と何かで読みました。だったら先生は大丈夫、と安心している私ですが、これからはお体ご自愛下さい。そしてますますのご活躍をお祈り申し上げます。」。次は、多賀城市の森さんから。「きょう初めてお世話になりました森真澄の母です！ありがとうございます！。真澄を産んでからというもの正直かわいい以上に不安だらけが多い毎日だったんです。今日伺ったのは咳、熱ももちろん気がかりだったのですが、話を聞いてもらいたかったというのもあったのです。産まれて何日かするとみんな白くなるのに、なんでうちのは赤なんだーから始まり、なんでだーばかりで過ごしてきました。先生がおっしゃったように初めから比べてばかりだったんですね。忙しい診察時間にいっぱい話してもらえてうれしかったです。1、2ヶ月検診のときもあれきこう、これきこうって思ってるんですが気持ちが先走ってうまく聞けずにあっという間に終わってしまっ。先生の話は例えが印象に残り診察が終わった後も、そうかそうかって安心感が広がりました。正直仙台リビングに載った写真の印象はインテリ風なのかなって思って伺ったのですが訛りもあって話やすかったです。今度私にもサインしてくださいね！」。そして宮城野区の藤代さんです。

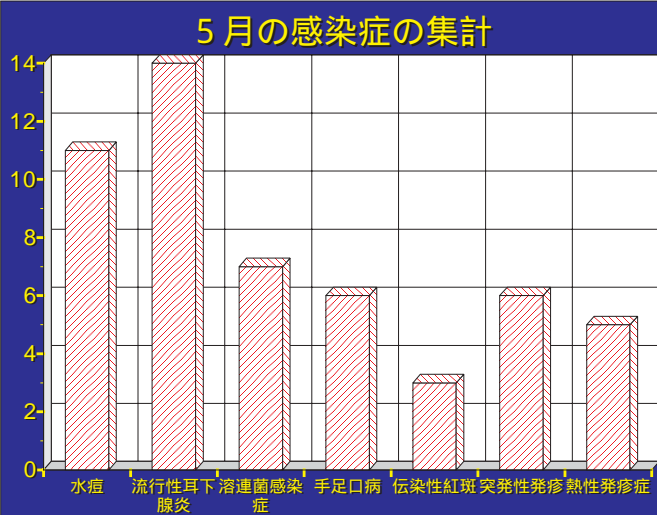


今度は、とうとう写真集ができました。もう、タレントの仲間入りでしょうか。この本は、全国から特徴のある医療を展開している50人が選ばれています。「医師という隣人たち」は、患者さんのすぐそばにいる理解者、支援者である「隣人」という意味から、題名が付いたようです。待合室に置いてあります。

「今日、二ヶ月検診で診察していただいた藤代 あいみの母です。こちらへのメール、初めてでドキドキしています。あいみは、検診後、おっぱいをあげたら、満足げにいい顔をして、ぐっすりおねねしました。今日は、本当に丁寧に診察して頂いて、本当にありがたく思っています。上の子が風邪の時、同様、私の不安も吹き飛ばしてくれる、思いやりのあるお言葉。以前、上の子が通っていた近所の小児科の医師は、子供が泣くとすぐ怒るしで、子供が萎縮しちゃって...。そうすると、私も何も聞けなくて。そんな時、友人の紹介でかわむら先生の評判を聞いてお伺いさせて頂いた次第です。評判通りでもう、感激でいつも帰って来てるんですよ。変な話、子供が病院好きになっちゃいました。かわむら先生に薬もらいにいく~」ってな感じで。（略）そうそう、先生の本、帰りに買って来たんですよ~。ゆっくり、じっくり、読んでいきたいと思います。今度、サイン!!!お願いしますね。本当に今日は、ありがとうございました」。

クリニックNEWSの100号記念誌にサインをもらったことが、アイドルからもらうように嬉しかったとメールくれた宮城野区の毛利さん。診察後、もじもじしながら本を差し出しサインを求めた太白区の菅井さん。そして小児歯科紹介のお礼をFaxで頂いた泉区の武蔵さん含め、たくさんのメールや投書、本当にありがとうございました。

クリニックNEWSの100号記念誌にサインをもらったことが、アイドルからもらうように嬉しかったとメールくれた宮城野区の毛利さん。診察後、もじもじしながら本を差し出しサインを求めた太白区の菅井さん。そして小児歯科紹介のお礼をFaxで頂いた泉区の武蔵さん含め、たくさんのメールや投書、本当にありがとうございました。



流行性耳下腺炎（おたふく）が、様々なところで流行しています。ほっぺが腫れたら、回りで流行しているか確認して下さい。水痘や溶連菌感染症は、相変わらず多く見られています。月半ばまでは、インフルエンザ（B）もありました。こんな時期まであるなんて、ちょっと今年は大変です。咽頭結膜熱（発熱と目やに）もここに来て少し目立ってきています。アデノウイルスが原因で、プール熱とも呼ばれています。

編集後記

本が出版されたり、新聞やラジオで紹介されたり、座談会に出たり、今度は写真集が出たりと、引っ張りだこです。こんなことで有頂天にならず、紹介したようなメールを、これからも頂けるよう、気を引き締めていきたいと思っています。もう一つ追加。河北新報の夕刊（5.6月）の毎週月曜日、随想読んでみて下さい。



欄外でごめんなさい。テレビの位置の投書を頂きました。これについては何度も答えています。100号記念誌を、読んでみて下さい。